講義科目名称: 情報処理 I 授業コード: A0462 B0461 B0462

授業科目の区分等: 専門教育科目 経営・会計学科共通科目 学部共通基幹

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
半期		1年 2 必修				
担当教員						
河合 博子・佐々	木 正仁					
C (商学部)		S (専門科目)		IF (情報)	101 (基礎・入門科目)	
授業のねらい (概要)	技術につい種類と違い。	て学修し、ビジス 、OSの機能、プロ 組みを理解し、「	ネスにおける諸沼 コグラム、データ	5動に必要となる基本的 √管理について理解する。 ≷信についても学修する。	社会を支える情報技術までふれ、現代の情報は情報知識の修得を図る。ソフトウエアの。インターネットの利用を通したネット。情報の活用、情報のモラル、情報倫理、	
授業計画	第1回	到達目標·成績	責評価の方法等、	「ビジネス諸活動におけ 学習内容の全体像をつ 処理を学ぶ目的と重要性	かむ。	
		復習 (時間)	: シラバスや掲 : 授業時の指示 ワーク環境を整	に従い、予習復習用のP	イトを利用できるようにする (60) ℃ (またはタブレット端末やスマートフォ	
	第2回				ゲータの5大装置・[1-2]CPU・[1-3]メモ	
		スマートフォ	ン) で授業用サ :授業時の指示	イトに書き込む (120)	し例題を解き、PC(またはタブレット端末ペリ組み、リフレクションと共に授業用サイト	
	第3回	コンピュータ	ピュータの概要 の基礎的機能と -8]入出力インタ	構成・動作原理を学ぶ。	[1-5]入力装置・[1-6]ディスプレイ・[1-	
		スマートフォ	ン) で授業用サ :授業時の指示	イトに書き込む (120)	し例題を解き、PC(またはタブレット端末や り組み、リフレクションと共に授業用サイト	
	第4回				`ットとバイト・[2-4]文字の表現・[2-5]画	
		スマートフォ	ン)で授業用サ :授業時の指示	イトに書き込む(120)	し例題を解き、PC(またはタブレット端末やり組み、リフレクションと共に授業用サイト	
	第5回	ファイルとデ ファイルとデ の場所		方を学ぶ。[3-1]ファイ	ルとは・[3-2]ディレクトリ・[3-3]ファイ	
		スマートフォ	ン)で授業用サ :授業時の指示	イトに書き込む(120)	し例題を解き、PC(またはタブレット端末や り組み、リフレクションと共に授業用サイト	
	第6回				デスクの構造と記録方法・[4-2]フラグメン	
		スマートフォ	ン)で授業用サ :授業時の指示	イトに書き込む(120)	し例題を解き、PC(またはタブレット端末や り組み、リフレクションと共に授業用サイト	
	第7回	0Sとアプリケ	S とアプリケーシ ーションの役割 フトウエアの分類	、機能、種類を学ぶ。[[5-1] OSの役割・[5-2]アプリケーションと	

予習(時間):前回の指示に従い、主な用語を確認し例題を解き、PC(またはタブレット端末やスマートフォン)で授業用サイトに書き込む(120) 復習(時間):前回の指示に従い、練習問題に取り組み、リフレクションと共に授業用サイトに書き込む(120)

第8回 ネットワークの接続形態

LANとWAN、LANの接続形態(トポロジー)・クライアント/サーバ方式・無線LANの概要を学ぶ。 [8-1]LAN & WAN

予習 (時間):前回の指示に従い、主な用語を確認し例題を解き、PC (またはタブレット端末やスマートフォン)で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間):授業時の指示に従い、練習問題に取り組み、リフレクションと共に授業用サイト に書き込む (120)

ネットワーク通信の仕組み 第9回

インターネット経由で通信ができる仕組みを学ぶ。[8-2]プロトコルとパケット・[8-3]ネット ワークを構成する装置・[8-4] TCP/IPを使ったネットワーク)

予習 (時間):前回の指示に従い、主な用語を確認し例題を解き、PC (またはタブレット端末やスマートフォン)で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間):授業時の指示に従い、練習問題に取り組み、リフレクションと共に授業用サイト に書き込む (120)

[課題2] ネットワーク上のサービス 第10回

代表的なサービスの仕組みを学ぶ。 [8-5] ネットワーク上のサービス・[8-6] www [8-7] 電子メー

予習 (時間) : 前回の指示に従い、主な用語を確認し例題を解き、PC (またはタブレット端末やスマートフォン) で授業用サイトに書き込む (120) 復習 (時間) : 前回の指示に従い、調査結果を小レポートにまとめ、リフレクションと共に授業 用サイトに書き込む(120)

情報モラル・情報倫理と情報セキュリティ(1) 第11回

情報倫理、セキュリティの基礎、個人情報の保護、ユーザ認証、とアクセス管理を学ぶ。[9-1]ネットワークに潜む脅威・[9-2]ユーザ認証とアクセス管理

予習(時間):前回の指示に従い、主な用語を確認し例題を解き、PC(またはタブレット端末やスマートフォン)で授業用サイトに書き込む(120) 復習(時間):授業時の指示に従い、練習問題に取り組み、リフレクションと共に授業用サイト に書き込む (120)

第12回 情報モラル・情報倫理・情報セキュリティ(2)

コンピュータウイルス・不正アクセスの概要を学ぶ。[9-3]コンピュータウイルスの脅威・[9-4] コンピューダリイルス・不正アクセスの概要を子ぶ。[9~5] コンピューダリイルス・日際 「マコネットワークのセキュリティ対策) 予習(時間):前回の指示に従い、主な用語を確認し、事例を読み、PC(またはタブレット端末やスマートフォン)でコメントを授業用サイトに書き込む(120) 復習(時間):授業時の指示に従い、練習問題に取り組み、リフレクションと共に授業用サイト に書き込む (120)

第13回 情報モラル・情報倫理・情報セキュリティ(3)

暗号化技術とデジタル署名を学ぶ。[9-5]暗号化技術とデジタル署名・[9-4]ネットワークのセ キュリティ対策)

予習(時間):前回の指示に従い、主な用語を確認し例題を解き、PC(またはタブレット端末やスマートフォン)で授業用サイトに書き込む(120) 復習(時間):授業時の指示に従い、練習問題に取り組み、リフレクションと共に授業用サイト に書き込む (120)

インターネット関連法規 第14回

著作権、産業財産権、不正アクセス禁止法等インターネット関連法規を学ぶ。 [14-5] 関連法規 (120)

予習 (時間):前回の指示に従い、インターネットと法律の資料を読み、主な用語を確認し、PC (またはタブレット端末やスマートフォン)でコメントを授業用サイトに書き込む (120)復習 (時間):授業時の指示に従い、練習問題に取り組み、リフレクションと共に授業用サイト に書き込む (120)

第15回 [課題3] 全体のまとめ

予習(時間):前回の指示に従い、全体の復習を行いノートを見直しコメントをPC(またはタブ レット端末やスマートフォン)授業用サイトに書き込む (120) 復習(時間):授業時の指示に従い、小レポートにまとめ、リフレクションと共に授業用サイト に書き込む (120)

授業を通して身に 付けることができ る能力 (DP)

DP「商学部」の

- 2) 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 3) 専門分野の学びを、実務や社会で応用できる能力
- DP [経営学科」の
 - 2) 経営資産(ヒト・モノ・カネ・情報)を多面的に理解し、活用できる能力
- [身に付くスキル]

情報活用能力・生涯学習力

到達目標	①情報通信技術の進化を理解し、説明できる。 ②ハードウエアやソフトウエアの種類と違いを理解し、説明できる。 ③0Sの機能、プログラム、データ管理を理解し、説明できる。 ④インターネット経由のネットワークの仕組みと情報検索と受発信を理解し、説明できる。 ⑤情報モラル、情報倫理、セキュリティ管理を事例を通じて判断でき、説明できる。
課題や小テスト等 のフィードバック の方法	授業時間内あるいはMellyでの文書で全体的な解説を行うとともに、必要に応じて個別への指示を行う。課題内容についての質問もMellyで受け付ける。
履修上の注意	毎回内容を積み重ねてゆく性質の講義科目であり、予習復習にPCを使用した学習も含む。また、毎回の事前、事後の課題等も評価対象になる。そのために極力欠席は避けること。
成績評価の方法・ 基準	①定期試験60%、②小テスト及び授業内課題40%
教科書	『キタミ式イラストIT塾 ITパスポート 令和02年 第11版』 技術評論社
参考書・教材	[教材]授業担当者が作成した、紙媒体(およびデジタル/PDF) での資料、授業用サイト、PC用(デジタル/PDF) データを使用する。教員の指示に従うこと。
備考	[講義科目] 2020年度は、7、10、15回を課題研究として学修する。 第7回 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、および作業指示をMellyなどで行い、調査結果の小レポート作成や提出は当初シラバスどおり実施する。これらの指示確認等を5、6回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。 第10回 7回同様の実施として、指示確認を8、9回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。 醒15回 7回同様の実施として、指示確認を13、14回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。
	「成績評価の方法・基準」欄の「定期試験」は「最終レポート」で代替する。実施方法の詳細と評価基準は第1回で概要を授業中およびMellyで告知し詳細を第10回で同様に告知する。
教員との連絡方法	基本的に、A-portalでの出欠登録、Mellyでのリフレクション記入、Google formでの質問、Zoom、YouTube等を 併用する。